

平成29年度町政等に関するアンケートによる意見、提案、課題等
(30年度の進捗)

1 町道、農道の整備・草刈をしてほしい。

回答：まちづくり整備課

町では、児童、生徒の通学路の交通安全に重点を置き、町道3号線の整備に取り組んでおります。平成30年度は、用地確保のための物件調査等を行います。また、維持管理の面におきましても適宜、町道の修繕、除草を行ってまいります。

30年度の進捗

平成30年度は、町道3号線の整備に向けた用地確保のための物件調査等を行い、歩道整備のための用地取得に取り組みました。

- 2 松伏町の小・中学校の教育レベルが低く、若い世代の人達は子どもの教育を考え町外転居が大きい要因の1つになっている。教育の低い要因の把握及び対策等について、詳細を知りたい。

回答：教育総務課

学力の結果については、ホームページにも掲載しておりますが全国平均や県平均を下回っている項目があります。学力については、全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査の結果を各校で分析し、苦手分野の把握と2学期以降の重点指導項目を設定し、繰り返し学習し、学力の向上を図っております。また、3学期に松伏町独自で学力テストを実施し、各学年で学習した内容の定着状況を把握しております。また、定着が不足している項目については、一斉指導や個別指導等、指導方法を工夫して行い、年度内に学習内容の確実な定着を図っております。教育総務課では、学力向上には、学校で行う授業の質の向上と家庭学習の定着が必要不可欠であると考えております。平成28年度に作成した「松伏授業プラン」を活用し、教員の授業力向上を図るとともに、教育支援員を各校に配置し、個に応じたきめ細かな指導に取り組んでおります。学習内容定着に向け、平成29年度に「家庭学習の手引き」を作成・配布しました。家庭学習の習慣化を図り、学力向上に繋げてまいります。

また、集中し学習に取り組めるよう普通教室へのエアコン設置に向けて取り組んでいます。

30年度の進捗

学力の結果については、昨年度同様にホームページに掲載しておりますが、結果については、全国平均や県平均値を下回っております。対策についても、昨年度同様、各小中学校で分析し、授業改善等に取り組んでおります。また、埼玉県学力学習状況調査では、各校の中で、学力をよく伸ばした先生の授業内外での話を聞き取り、松伏町学力向上推進委員会で共有をしております。

「松伏授業プラン」は、平成30年度、第2版を作成し、指導等で各校を回った際に、課題となる箇所を具体的に示し、更なる授業改善に取り組んでおります。

平成29年度に作成した「マッパー家庭学習の手引き」については、各校の実情に合わせて活用し、家庭学習の更なる質の向上をめざしております。

エアコンについては、平成31年度夏の稼働をめざし、準備を行っております。

3 循環バスの検討をお願いします。

回答：企画財政課

平成12年度から平成16年度までに運行しておりました「町内循環バス」につきましては、費用対効果の観点から、廃止した経緯がございます。

平成29年8月から高齢者施策として、タクシー助成制度を開始いたしましたので、対象者として該当された場合は、ぜひご利用ください。

30年度の進捗

平成29年8月から開始いたしました高齢者タクシー助成制度について、今後も利用者ニーズを把握し、当町の実情を踏まえた上で、慎重に研究を進めながら、町内公共交通網の利便性向上に努めてまいります。

また、他の施策につきましては、費用対効果も含めて引き続き検討していきたいと考えております。

4-1 都心から40km圏内（住宅）の優位点を生かしていない。

回答：総務課・企画財政課

松伏町は都心からの距離が近く、通勤・通学に優位な点に加え、国道16号より内側に位置し、企業の立地面でもポテンシャルは高いと考えられます。

しかしながら、松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する際に行った課題分析では、これまでの町の取組みでは多くの人たちを呼び込み、住んでもらうところまで至っていないという結果となりました。

今後につきましては、これまでの取組に加え、町の魅力や優位点を様々な情報媒体を用いて発信するとともに、イメージアップのための取組等を進めてまいります。

30年度の進捗

町では平成29年12月に松伏町シティプロモーション戦略を策定し、平成30年度は本戦略に基づき、SNSの活用やAKB48チーム8所属の埼玉県代表である高橋彩音さんを「まつぶしPR大使」に委嘱し、多方面に対して広報活動を実施しているところです。引き続き、様々な媒体を活用して町の魅力を発信し、イメージアップに努めてまいります。

4-2 何の特徴もなく、財政的にも苦しい町が今後も維持できるはずはない。一刻も早く他市町村との合併を計画すべき。

回答：企画財政課

合併につきましては、埼玉県東南部都市連絡調整会議（草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町の5市1町で構成）において、平成15年2月24日に「5市1町の枠組みで政令市を目指す」ということについて合意されています。現時点で合併には至っていませんが、5市1町では市民、町民が他市、他町の公共施設の相互利用など広域で利用出来るよう連携を図っているところです。

財政力の低い町が他市との合併をするより、現在は財政力を向上させる事に全力をつくしています。

今後につきましても、5市1町で連携した積極的な事業展開をしていくことが重要であると認識していますので、連携を強化していきたいと考えております。

30年度の進捗

合併につきましては、埼玉県東南部都市連絡調整会議において、将来的に5市1町の枠組みで政令市を目指すということについて合意されております。今後につきましても、合意に基づき、松伏町を含む5市1町で歩調を合わせながら推進してまいりたいと考えております。

4-3 町の唯一の長所であるエローラ、音楽教育の盛んな所を生かし音楽に力を入れたらどうか（小・中学校、高校）。

回答：教育総務課

音楽教育の取組として、小学校では、毎年各校でチェリストの渡部宏先生による音楽演奏会が実施され、音楽に親しむ機会を設け、また、町内の中学校の吹奏楽部を招いて演奏会を実施し、音楽を通じた小中学校の交流を行っております。中学校では、吹奏楽部の活動のほか有志による合唱の活動が活発でコンクールに出場するなどしております。また、町外に誇れる施設「エローラ」を会場に毎年、小中学校の代表クラスが集い、合同音楽会が実施され、美しい歌声の響きを感じる機会を設けております。さらに、町内で行われるイベント（町民まつり、社会を明るくする集い等）では、小学校の器楽クラブや中学校、高等学校の吹奏楽部の演奏も加え、児童生徒のみならず、町民にも音楽のよさを伝える場としております。今後も音楽教育に力を入れ、心豊かな児童生徒の育成を図ってまいります。

30年度の進捗

小学校でのチェリスト渡部宏先生による音楽演奏会、中学校の吹奏楽部による演奏会、エローラでの小中学校合同音楽会、町内のイベントでの小学校の器楽クラブや中学校、高等学校の吹奏楽部の演奏の発表を例年と同様に実施いたしました。平成30年度はさらに、小学校では、校内音楽会への松伏高等学校の合唱部のジョイントによる交流、音楽朝会や音楽クラブ発表会の保護者・地域への公開など新たな取組を実施した学校もあり、音楽教育の充実が図られています。

4-4 スリム化すべき、町会議員多すぎる。

回答：議会事務局

議員定数の適正数の検討については、平成30年度にあるべき体系を協議する予定です。

また、議会案件でありますので、議会運営委員会で検討する予定です。

30年度の進捗

議会運営委員会において議員定数について協議を重ねた結果、「全国町村議会議長会の研究会報告に、議員のなり手不足問題は、定数の減少による当選ラインが上昇することが原因の1つであると論じられている」、「二元代表制の位置付けになる議会の特質・性格は合議制から成り立っており、合議をするために必要な人数、委員会が合議できる人数は現状の7人は妥当である」、「議会の役割は住民の声を町政に反映する役割が大きいと、議員が減れば住民の声を反映しにくくなる」等の理由から、当町の議員定数は現状の15人が適正であるとの結論に至りました。

- 5 町役場の職員について、各窓口に行ったらすばやい対応をしてほしい、仕事の休み時間を利用して行くのだから。

回答：総務課

松伏町では、理想の職員像を「住民の立場で行動し、目標に向かってチャレンジする明るい職員」としています。この理想とする職員が増えることにより町民の皆さまへのサービスが向上するものと考えています。

今回のご意見を受け、それぞれの職場において適切な窓口対応を行うよう研修などの機会を活かし、より一層お客さまに満足をしていただけるよう接遇の改善に取り組んでいきます。

30年度の進捗

新規採用職員への接遇研修及び3年未満の職員を対象とした接遇研修を実施しました。更に、管理監督職員を対象として、ダイバーシティ研修を実施し、多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組みました。

- 6-3 障害者が増える一方働く場やグループホーム等、もっと充実して欲しいと思っています。

回答：いきいき福祉課

現在、就労継続支援・グループホーム・児童発達支援・放課後等デイサービスなどの障がい児通所サービスを提供している事業所が少しずつですが増えているところでございます。

町としては、今後も民間事業所と協力して事業展開を図っていきたいと考えております。

30年度の進捗

障がい者の自立、地域生活を支えるために欠かすことのできないサービスであり、社会福祉法人やNPO法人に対して、利用者ニーズに対応したグループホーム等のサービス基盤についての整備や運営のための情報提供や働きかけを行い、整備の促進をしました。

7-2 町民と役場職員のコミュニティがあれば、様々な問題提起や改善等が生まれるのではないか？

回答：総務課

町職員が地域コミュニティに参加し情報発信する制度もございますが、時間的、人力的に困難ですので、行政説明会を全体の説明の場とさせていただき、情報の発信については引き続き広報紙やホームページ等で随時行っていきます。

なお、町職員に対してはお気軽にお声かけいただき、ご意見等を聞かせていただければと思います。

30年度の進捗

平成30年5月10日に行政説明会を開催し、平成30年度予算に関することや、町の主要事業についてご説明させていただき、ご質問ご要望等を受ける機会を設けました。

7-3 松伏町役場ではPDCAをどのように実施しているのか知りたい。

回答：企画財政課

松伏町では現在、まちづくりの指針となる第5次総合振興計画に基づいた施策を実施しているところです。

各種事業におきましては、PDCAサイクルによる進捗管理を行っており、事業ごとの実施状況や目標、指標の達成状況等を検証しており、また、定期的に事業の見直しを図ることで効率的で質の高い町政運営に取り組んでいます。

今後におきましても、社会を取り巻く情勢の変化や多様化する住民ニーズを的確に捉え、「笑顔が未来に広がる緑あふれるみんなのまち！」の実現に向けたまちづくりを推進してまいります。

30年度の進捗

平成30年度で第5次総合振興計画の前期基本計画の計画期間が満了することから、平成31年度を始期とする後期基本計画を策定するにあたり、指標等を見直しを行い、各種施策の進捗管理については、これまでどおりPDCAサイクルを活用し、定期的に事業の見直しを図ることで効率的で質の高い町政運営に取り組んでいるところです。

今後においても、町民の皆様の期待と信頼に応えられるよう、施策の進捗管理等を徹底し、サービスの向上を図ってまいります。

7-4 下水道整備計画が知りたい。

回答：まちづくり整備課

汚水全体計画面積587.5ha 整備済面積261.3ha 整備率44.5%
整備経過状況

ゆめみ野地区S60-H5 田中地区H5-H8 松葉地区H7-H9

内前野地区H9-H11 砂場地区H10-H11 外河原地区H12-H15

上河原・八反地区H16-H25 (H30年3月31現在)

松伏町の公共下水道(汚水)は、昭和60年度に着手し、平成5年4月1日に田中地区の一部と外前野地区において、初めて供用を開始しました。それ以降、田中地区、松葉地区、東埼玉テクノポリス地区、内前野地区、砂場地区、外河原地区、上河原・八反地区(一部の地区を除く)の順番で供用を開始しています。

30年度の進捗

・マンホール浮上防止対策工事(地震によって緊急輸送道路のマンホールが浮き上がる現象を防止する工事になります。)

平成30年度は8基のマンホールに対して浮上防止対策工事を実施しました。

・松伏汚水193号線築造工事(外河原地区県道越谷野田線延伸による下水道付帯工事 延長251m)を実施しました。

・松伏汚水195号線築造工事(外河原地区県道越谷野田線延伸による下水道付帯工事 延長119m)を実施しました。

- 8 今後松伏町は、東埼玉道路、工業団地等でそれなりの発展はしていくと思いますが、人口の減少は進むと思います。自分が築比地と云う事もありますが松伏の北部地区の市街化調整を見直してもらい、住宅を増やしていても良いのではと思います。人口減少を止めるのは、分譲住宅等の住宅化だと思います。

回答：企画財政課

松伏町では、近年の少子高齢化や宅地開発の落ち着きに伴い、町の人口は減少しています。

町では、こうした状況に対応するため、平成26年度から10年間の町の進むべき方向についての指針となる第5次総合振興計画の中で、土地利用の構想を定め、乱開発を防止し、秩序あるまちの発展を図ることとしております。

この中では、職住近接と町の核づくりを目指し、東埼玉道路と浦和野田線が結節する松伏・田島地区周辺を活性化推進地区に位置付け、雇用の場を創出する産業集積を進めることと併せて、職住近接を目指した人口増加の受け皿として住居系の土地利用を進めることとしています。

こうしたことから、当該地区で現在進められている埼玉県企業局による産業団地の取組と併せ、住居系の土地利用についても検討してまいります。

30年度の進捗

平成30年度をもって第5次総合振興計画の前期基本計画の計画期間が満了することから、平成31年度を始期とする後期基本計画を策定するにあたり、各種団体の代表者、公募町民などから構成される総合振興計画審議会を組織し、これまでの事業の進捗状況や町民意識調査の結果などを踏まえ、人口減少に歯止めをかけ、定住化や人口増加に繋がる施策などについて検討してまいりました。

今後は町民の皆様からいただきましたご要望やご意見などを踏まえながら、具体的な施策を後期基本計画に位置付け、第5次総合振興計画における町の将来像「笑顔が未来に広がる緑あふれるみんなのまち！」の実現に向け、引き続き推進してまいります。

- 9 サンダルで仕事は見苦しい。

回答：総務課

殆どの職員は革靴や運動靴などを履いて勤務していますが、今回のご意見を受け、皆様が不快な思いをいだかないよう配慮し改善に取り組みたいと考えています。

また、危機管理の面からも早急に是正します。

30年度の進捗

服務規律に関する課長会議を開催し、サンダル履きを含め職員の服務規律について注意喚起しました。

また、全職員に対して服務規律の確保について文書を配信し注意喚起をしました。

10-1 高齢者及び障害者の福祉がまだ充分ではない。

回答：いきいき福祉課

高齢者世帯が地域で安心して生活できるように、緊急時通報システムの整備、民生委員の近隣見守り活動、高齢者等配食サービス事業、高齢者福祉タクシー事業を継続するとともに、避難行動要支援者名簿を整備し、避難支援に備えます。

障がい福祉サービスについては、今年度から障がい者等、障がい児の保護者又は障がい者の保護を行う者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言その他の厚生労働省令で定める便宜を供与するとともに、障がい者等に対する虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整、その他の障がい者等の権利の擁護のために必要な援助を行うことを目的とする「相談支援センター」事業を委託をし相談業務を充実しました。今後も民間事業者と協力して障がい福祉サービスの充実を図ってまいります。

30年度の進捗

各種高齢者福祉サービスを実施しました。また、要介護度の高い方や重度障がいのある方（避難行動要支援者）の名簿を整備しました。

障がい福祉サービスについては、障がい者等、障がい児の保護者又は障がい者の保護を行う者からの相談に応じた「相談支援センター」を開設し、相談業務を充実しました。

10-2 岩平のバス停、中川の郷があるにもかかわらずせまくて危険（発達障害の子は走り出す子が多い）。中川の郷は5市1町が近く、他の市の人も利用するので、岩平の前を通るたびに、又バスを待っていた時もせまいし、雨の日は特に危ないと思いました。吉川市の他のバス停と比べるのではなく、病院の施設の乗降するバス停なので早く検討してください。

回答：企画財政課

岩平バス停においては、河川区域の関係もあり、降車スペースの確保は困難なことから、現段階では整備することが難しい状況となっております。このため、町では、安全対策といたしまして、歩行者の横断について、通行車両に注意を呼びかける看板をバス停付近に設置いたしました。

引き続き、道路管理者である越谷県土整備事務所及び交通管理者である吉川警察署と連携し、バス停利用者の安全の確保を図ってまいりたいと考えております。

30年度の進捗

岩平バス停（下り）について、関係団体等と協力し、滞留区域を設置いたしました。

引き続き、道路管理者である越谷県土整備事務所及び交通管理者である吉川警察署と連携し、バス停利用者の安全の確保を図ってまいりたいと考えております。

10-3 役場の職員は、もう少ししてきぱきと動いたら良いと思います。

回答：総務課

松伏町では、理想の職員像を「住民の立場で行動し、目標に向かってチャレンジする明るい職員」としています。この理想とする職員が増えることにより町民の皆さまへのサービスが向上するものと考えています。

今回のご意見を受け、それぞれの職場において適切な窓口対応を行うよう研修などの機会を活かし、より一層お客さまに満足をしていただけるよう接遇の改善に取り組んでいきます。

30年度の進捗

新規採用職員への接遇研修及び3年未満の職員を対象とした接遇研修を実施しました。更に、管理監督職員を対象として、ダイバーシティ研修を実施し、多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組みました。

11-1 車がないと生活できない。バスなどほとんど利用できない(本数が少ない)。

車に乗れなくなった時にどうなるのか不安。金杉地区はバスがほとんど通らない。役場に行くのも車、車がなければタクシーになる。お金がなければどこにも行けない(特に年寄り!!)。あまりにも不便すぎる。

回答：企画財政課

町では、地域住民の利便性を確保するために、町内路線を運行しているバス事業者と調整し、町内バス網の充実を図っているところです。

また、町民まつりでは、臨時バスを設置し、北部地域を巡回させて、多くの方に利用していただきました。

さらに、北部拠点が整備され、各種証明書の発行等ができるようになったことから、今後、北部地域の利便性が向上するものと考えます。

平成29年8月から高齢者施策として、タクシー助成制度を開始いたしましたので、対象者として該当された場合は、ぜひご利用ください。

30年度の進捗

町内路線を運行する各バス事業者へ、機会を捉えて利便性の向上について要請しております。

また、平成29年8月から開始した高齢者福祉タクシーの利用状況等も注視しながら、関係各社と費用対効果も含めて協議しながら、総合的に検討してまいりたいと考えます。

1 1 - 2 町のはずれ(昔からの地区)が置き去りにされているものすごく感じる。

回答：企画財政課

町では、平成26年度から10年間の町の進むべき方向についての指針となる第5次総合振興計画の中で、土地利用の構想を定めています。

この中では、町を自然環境活用地域、田園環境活用地域、市街地環境整備地域、工業集積地域に区分し、乱開発を防止するとともに、秩序あるまちの発展を図ることとしております。

こうしたことから、今後につきましても、松伏町の恵まれた自然環境を活かしつつ、持続可能な発展が図れるよう、各地域の特性を活かした土地利用を進めてまいります。

30年度の進捗

平成30年度をもって第5次総合振興計画の前期基本計画の計画期間が満了することから、平成31年度を始期とする後期基本計画を策定するにあたり、各種団体の代表者、公募町民などから構成される総合振興計画審議会を組織し、これまでの事業の進捗状況や町民意識調査の結果などを踏まえ、今後のまちづくりについて検討してまいりました。

今後は町民の皆様からいただきましたご要望やご意見などを踏まえながら、具体的な施策を後期基本計画に位置付け、第5次総合振興計画における町の将来像「笑顔が未来に広がる緑あふれるみんなのまち！」の実現に向け、引き続きまちづくりを進めてまいります。

1 3 - 2 本屋さん、DVDなどのレンタル屋、雑貨屋などができてほしい。

回答：企画財政課

松伏町にこのような店舗ができるためには、まず、松伏町でたくさん買い物をするようになる必要があります。

そのためには、松伏町に住む人を増やし、活性化を図っていかねばなりません。松伏町へたくさんの人に来てもらい、そして、住みたいと思える人が増えるようなまちづくりを行っていきたいと考えております。

30年度の進捗

町としましては、引き続き松伏町に住む人を増やし、活性化を図っていくことが重要と考えております。今年度の取組みといたしましては、町の活性化や子どもから高齢者までが集うことのできる居場所づくりを目的として、今年度から赤岩地区公民館が多世代交流学習館にリニューアルオープンいたしました。

引き続き、町の活性化に資する事業を検討・実施し、松伏町に住みたいと思える魅力づくりを行い、定住推進に努めてまいります。

13-5 松伏町松伏に住んでいるが越谷駅行きのバスができると行動範囲が広がるのできてほしい。

回答：企画財政課

現在、茨城急行自動車（株）及び（株）ジャパンタローズの各バス事業者のご協力をいただき、せんげん台駅、北越谷駅、南越谷駅、越谷レイクタウン駅、吉川駅及び野田市駅へと、松伏町から近隣の駅へのアクセスが向上しているところです。

越谷駅行きのバスにつきましては、他の自治体やバス事業者との兼ね合いがございますことから、機会を捉えて要望していきたいと考えております。

30年度の進捗

越谷駅行き等バスの新規路線の運行につきましては、機会を捉えてバス事業者へ要請しておりますが、道路の交通事情やバス事業者の経営上の判断から路線の開通には至っておりません。

引き続き機会を捉えて各バス事業者へ要請するとともに、関係団体にご協力いただきながら、路線バスの維持拡充に力を入れてまいりたいと考えております。

14-1 吉川駅行きのバスを増やしてほしい。

回答：企画財政課

吉川駅行きのバスにつきましては、茨城急行自動車（株）のご協力をいただきながら、吉川駅へのアクセス向上を図っているところです。

バスの増便につきましては、バス事業者の経営上の判断も必要となることから、引き続き様々な機会を捉えて、各バス事業者へ要請してまいりたいと考えます。

30年度の進捗

町内路線を運行する各バス事業者へ、バスの増便等交通利便性の向上について要請しておりますが、バス事業者の経営上の判断から増便には至っておりません。

引き続き様々な機会を捉えて各バス事業者へ要請するとともに、関係団体にご協力いただきながら、町内公共交通網の利便性向上に努めてまいります。

1 5 公共の交通手段が少ないので増やしてほしい。

回答：企画財政課

町内の公共交通網については、茨城急行自動車（株）及び（株）ジャパンタローズの各バス事業者のご協力をいただき、せんげん台駅、北越谷駅、南越谷駅、越谷レイクタウン駅、吉川駅及び野田市駅へと、松伏町から近隣の駅へのアクセス向上及び町内公共交通の利便性向上を図っているところです。

平成29年8月から高齢者施策として、タクシー助成制度を開始いたしましたので、対象者として該当された場合は、ぜひご利用ください。

30年度の進捗

平成29年8月から高齢者タクシー助成制度について、今後も利用者ニーズを把握し、当町の実情を踏まえ、様々な観点から慎重に研究を進めながら、町内公共交通網の利便性向上に努めてまいります。

1 7 - 1 道路工事や排水側溝など改修すると、雨天時に、雨水が側溝に流れにくくなっていて歩道が水浸しで歩行出来ない場所が増えている。側溝の蓋の網目もすぐ目詰まりして歩道を歩けないので水はけを良くして頂きたい。

回答：まちづくり整備課

治水は、住民生活上重要な問題であると認識しております。近年短時間における集中豪雨が増えていることから適切な治水対策に努めてまいります。

30年度の進捗

町では、大雨時に安定した流水を確保するため幹線排水路の清掃を重点に、柵渠、側溝、管渠の清掃を行い、また道路の雨水を側溝へ排水するため、グレーチングの設置に努めました。

1 8 - 1 道路をオーバーレイにしていきたい。

回答：まちづくり整備課

ご要望の内容は、道路の修繕に関することと思われれます。町では、定期的に道路パトロールを行い、道路の破損箇所などは、必要に応じて修繕するとともに町道の修繕計画を作成し計画的に修繕してまいります。

30年度の進捗

町では、定期的に道路パトロールを行い、道路の破損箇所などは、必要に応じて修繕行いました。また、広域農道の一部を切削オーバーレイを実施いたしました。

- 22-1 常に予算がないという話ばかりきいていたので余り期待はしないできました。しかし、ない予算の中でアイデアを出して町の収入を増やす仕組みをもう少し考えてみても良いのではないかと思います。

回答：企画財政課

町では、平成29年度から平成33年度までを計画期間とする行政マネジメント戦略（第6次行政改革大綱）を策定し、全庁的に取り組んでいます。

この行政マネジメント戦略では、「ニーズに応え変化し続けるサービスマネジメント」、「町の魅力をセールスできる組織・人材マネジメント」、「更なる収益向上を目指す行財政マネジメント」の3つの方針に、具体的なアクションプラン（実施計画）として36項目の具体的な取組があります。

更なる収益向上を目指す行財政マネジメントの中で、下水道使用料改定の検討や広告・売却等による収入の拡大、公共施設使用料の見直し等を実施することで、収入の向上に努めているところです。

30年度の進捗

平成30年度につきまして、行政マネジメント戦略のアクションプラン（実施計画）により、コストの意識付け等を実施することで、経費節減を図ってまいりました。また、収入の確保では、自動販売機売上収入等の確保を図ってまいりました。

23-1 交通機関の整備と第1次産業～3次産業のバランスを検討。若者が県外へ流出しないように2次産業、3次産業の充実を図り、町の活性化を目指す。

回答：企画財政課

町では、第5次総合振興計画の土地利用構想に基づき、町を4つの地域に区分し、恵まれた自然環境を活かしつつ、秩序ある町の発展を目指した土地利用を図ることとしています。さらに、地域の活性化を図るため、「職住近接と核づくりによる新市街地区域」及び「北部地区の拠点区域」を活性化推進地区として位置付け、重点的な土地利用を図ることとしています。

活性化推進地区のうち、新市街地区域における産業団地の整備について、埼玉県企業局と共同し事業の着実な進捗が図られるよう取り組んでいます。

今後につきましても、町の活性化へ向け、産業等が充実するよう努めてまいります。

30年度の進捗

平成30年度をもって第5次総合振興計画の前期基本計画の計画期間が満了することから、平成31年度を始期とする後期基本計画を策定するにあたり、各種団体の代表者、公募町民などから構成される総合振興計画審議会を組織し、新市街地区域における産業団地の整備など、人口減少に歯止めをかけ、定住化や人口増加に繋がる施策などについて検討してまいりました。

今後は町民の皆様からいただきましたご要望やご意見などを踏まえながら、更なる職住近接を目指し、魅力的なまちづくりを推進できるよう後期基本計画に各種施策を位置付け積極的に取り組んでまいります。

- 24 役場の人達においては、人それぞれで、私の場合は松伏町に嫁いで、初めて役場に行って気づいたのは、近所の人と変わり無い言葉使いや対応で驚き！！（不愉快）人と接する対応や言葉使いが出来て無かったと思います。最近も少しは変わったかと言うと、若い人達の中にはきちんと接する方も居ますが、元々地元の方は、やはり言葉使いや態度が良く無い方も居ます。もう少し、人と接する力を身に付けて頂きたいですね！！

回答：総務課

松伏町では、理想の職員像を「住民の立場で行動し、目標に向かってチャレンジする明るい職員」としています。この理想とする職員が増えることにより町民の皆さまへのサービスが向上するものと考えています。

今回のご意見を受け、それぞれの職場において適切な窓口対応を行うよう研修などの機会を活かし、より一層お客さまに満足をしていただけるよう接遇の改善に取り組んでいきます。

30年度の進捗

新規採用職員への接遇研修及び3年未満の職員を対象とした接遇研修を実施しました。更に、管理監督職員を対象として、ダイバーシティ研修を実施し、多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組みました。

- 26 町の中心部以外は農道が多く道幅が狭いので広げて行くよう努力してほしい。

回答：まちづくり整備課

町では大川戸地区の町道3号線の拡幅を進めております。他の地区の生活道路の拡幅も重要であると認識しておりますが、限られた予算を有効活用するため農道の拡幅は、難しい状況です。なお、道路の修繕等は、適切に行ってまいります。

30年度の進捗

平成30年度は、町道3号線の整備に向けた用地確保のための物件調査等を行い、歩道整備のための用地取得に取り組みました。

27 是非とも、自治会組織の再編成を町と自治体で行いましょう。今までの考え方を
変える時期がまさしく今だと感じております。

回答：総務課

町でも高齢化や役員のなり手不足などにより自治会加入率は低下しており、地域
コミュニティの活性化については、喫緊の課題と捉えています。また自治会は任意
の地域コミュニティ組織であるため、町の主導で再編成等を行うことも困難であり
ます。自治会組織に係るご意見ご提案等ございましたら、お気軽にご相談いただき、
町としても積極的に支援をさせていただきたいと思っております。

30年度の進捗

平成30年7月9日に自治会連合会長会議を開催し、自治会の現状や、課題に対
する意見交換を行いました。